



日本政策金融公庫 姫路支店

支店長 兼 国民生活事業統轄 **久保 幸一** さん

中小企業の資金繰りを支援している日本政策金融公庫。最近ではウィズコロナ、アフターコロナを見据えたサービス強化に努めています。姫路支店長で国民生活事業統轄の久保さんにお話を伺いました。

## 地域の皆様の役に

## 立てるようにつ

### 業績の二極化がはっきりと

当支店は、県内でも最も広い8市6町を管轄しています。融資のご相談状況については、新型コロナウイルス感染症特別貸付が始まった当初は通常の10倍を超えるご相談があり、職員総出で対応させていただきました。現在も少し落ち着いたとはいえ、平時を上回るご相談をいただいております。

県内の景気は一部の業種で持ち直しが見られますが、依然として厳しい状

況が続いています。コロナを機に経営の改善に取り組み、業績を回復させている企業と、業績がまだまだ厳しい企業の二極化がはっきりしてきているように感じます。

### 様々な取り組みを強化します

資金繰り支援とともに経営改善や事業承継のご相談にも応じており、今年度さらに強化すべく取り組んでいます。これまで以上に対話を深めることで経営課題を共有し、強固な事業基盤を築けるよう、解決に向けたアドバイスを行います。商工会議所や金融機関などと連携を取りながら、必要に応じて専門家に繋げることもあります。

事業承継についてはマッチング支援を行うっており、譲渡にかかる費用や従業員の雇用維持、取引先の引き継ぎなど、後継者確保以外にも多くの課題があります。そのような問題も、譲渡側・譲受側の状況を考えながら解決へとサポートします。

また昨年度から創業のご相談が増え、コロナの影響で退店後の空き店舗の家賃が安かったり、退職したためやむなく創業したといった事例もあり、計画が煮詰まっていらないなか創業しようとする方も一部おられます。

コロナ禍という非常に厳しい状況の中で開業される方に対する支援を強化し、創業前から、そして創業後も継続して販売状況などを伺いながらフォローアップを行い、事業の成長に繋げていければと考えています。

さらに、公庫ではデジタル化、DXの推進に取り組んでいます。その最たるものとして、お客様専用オンライン窓口「日本公庫ダイレクト」を推進しています。ご登録いただければ相談予約・借入申込、またこれまで郵送でやりとりを行っていた残高証明をはじめとした各種証明書の入手、取引状況の確認などが全てオンラインで行えます。お客様にとってメリットの大きいオンライン窓口ですので、是非ともご登録をいただければと思います。

### 経済の先行きは不透明

新型コロナウイルスの影響で今後の経済の先行きがまだまだ不透明ななか、原油高・原材料高の影響でますます厳しい状況になることも考えられます。しかし、厳しいなかにあっても事業の維持さらには成長していけるよう、私たちに何ができるのかを常に考えながら行動し、地域のお役に立てるよう全力で取り組んでまいります。